

【大学間協定留学】 留学近況報告書

記入日	2024年 11月 1日
留学先大学	ヨーク・セント・ジョン大学（日本語名） York St John University（現地言語名）
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名 日本語名：ビジネス 現地言語での名称：Business <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他：
留学期間	2024年9月～2025年2月
明治大学の所属学部等 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部
学年 ※出発時の本学での学年	2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

****留学地****

ヨークについては旅行パンフレットにはあまり詳しい情報がなかったため、YouTube などを利用して現地情報を集めました。しかし、イギリスの生活様式や文化、物価については深く調べなかったため、到着後には驚くことも多くありました。

アドバイスとして、事前に現地までの交通手段（電車やバス）は必ず予約しておくといいでしょう。York 駅から大学まで約 20 分かかるため、Uber を使えるようにしておくとう便利です。

****持ち物****

持ち物の準備には、留学や旅行のパッキング動画やサイトを参考にしました。また、有楽町のパスポートセンター近くにある「トコー」というショップも利用しました。ヨークにはアジアンスーパーもあるため、日本食をすべて持参する必要はありませんが、到着初日は料理をする時間がなかなか取れないこともあります。インスタント食品や、だしや味の素などの便利な調味料を持参すると安心です。

服装に関しては、秋冬は日本の気温マイナス 10℃程度と考えてください。秋は 10℃前半の気温が続くことが多いです。

****日本で準備すべきこと****

半年から 1 年滞在する場合、出発前に美容院や病院を訪れることをおすすめします。留学期間中のコンタクトレンズや常備薬の処方、また必要であれば健康診断なども行っておくといいでしょう。国によっては、イギリス以外ではワクチン接種が義務付けられている場合があります。何回かに分けて接種が必要なものもあるため、遅くとも出発の 3 か月前には確認しておきましょう。

****金銭****

基本的にクレジットカードを使用していますが、複数枚のカードやデビットカードも持つと安心です。VISA や Master であればほとんどの場所で使用可能です。現金を使う機会はほぼありませんが、露店や個人経営のお店では現金のみの場合もあります。

****お酒****

イギリスでは18歳から飲酒が可能で、大学にもパブがあるほど飲酒文化が盛んです。お酒を通じて友人関係を築きたい場合、少し慣れておくと良いかもしれません（ただし、イギリス人でも飲まない人もいますので強制ではありません）。

****留学前の準備****

留学アドバイザーや過去の留学生に事前に連絡を取り、情報を収集することを強くおすすめします。また、一緒に留学する学生とは事前にコンタクトを取っておくと安心です。

II-1. 留学のための渡航前手続き（留学ビザ） ※詳細に記入して下さい

ビザの種類：Standard Visitor Visa	申請先：なし
ビザ取得所要日数：0 (申請してから何日/何週間要したか)	ビザ取得費用：0

1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？ また、どのように手配しましたか？

半年間の留学+日本人のため、特段 Visa の取得に際して手続きは行いませんでした。
半年間の滞在ですと、Standard Visitor Visa で滞在可能です。日本人は手続きを行わずとも本 Visa が付与されます。大学に対して航空券を提示すれば承認されるため、Visa に関しては特別対応することはありませんでした。

2. 具体的な申し込み手順を教えてください。**3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？****4. ビザ取得に関して困った点・注意点****II-2. 留学のための渡航前手続き（その他の事前準備について）****その他済ませておくべき準備があればお書き下さい（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送等）。******現金****

イギリスでは現金の両替はほとんど不要です。私自身、イタリアやドイツを巡ってからイギリスに入国しましたが、イタリアやドイツではチップ文化があるため現金が必要でした。しかし、イギリスではチップ文化が薄く、私も払う機会はほとんどありませんでした。そのため、大量の現金を両替する必要はなく、ほとんどの店舗や機関でクレジットカードが利用可能です。

安全のため、2~3枚のクレジットカードとデビットカードを準備しておくことをおすすめします。ブランドはVISAやMasterが広く対応しています。

****携帯電話 SIM****

私は GiffGaff というブランドの SIM を利用しました。この SIM は1か月単位でプランを購入でき、料金も比較的安価です。GiffGaff は日本への郵送サービスもあり、事前にセットアップを済ませることができて便利です。留学前に他国を旅行する予定がある場合、イギリス対応の SIM を事前に手配し、つなぎの SIM として活用するのも良いでしょう。

****荷物****

荷物の重量は23kg前後に収めました。航空会社によっては23kgまでの制限があるため注意が必要です。もちろん、課金して追加荷物を持参することも可能ですが、現地で調達できるものも多いので、最低限に抑えて問題ありません。

****入れておくべきアプリ****

イギリス滞在中で便利なアプリとして、Uber と Trainline をおすすめします。イギリスでは Uber が主流で、特に駅から大学まで距離があるため、初日は Uber を利用すると便利です。また、Trainline は鉄道チケットを購入できるアプリで、ロンドンやマンチェスターからの移動時に特急チケットを早めに予約することでお得に利用できます。

Ⅲ. 現地到着後のながれ**1. 到着時の様子**

利用航空会社	ITA Ways ・ JAL ・ Lufthansa				
航空券手配方法	航空会社公式サイト ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入				
大学最寄空港名	おそらく Manchester 空港	現地到着時刻	10:30 頃		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他 ()
移動の所要時間	2 時間半				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等****空港と交通手段****

他国旅行を経てイギリスに入国する場合、ロンドン・ヒースロー空港を利用する方が多いかと思います。ヨークへの最寄りの空港はリーズ・ブラッドフォード空港ですが、日本からの直行便がないため、多くの方はマンチェスター空港を利用するでしょう。ロンドン、マンチェスターのどちらからもヨークまでは特急電車で向かうのが一般的です（マンチェスター空港からは大学への無料バスも運行されています）。移動にはどちらも電車で 2 時間強かかります。

特急料金は予約時期によって異なりますが、ロンドンからヨークまでは約 1 万円、マンチェスターからは 5000 円弱が目安です。高速バスもありますが、移動時間が長くなるためおすすめしません。

****ロンドン・ヒースロー空港からの移動****

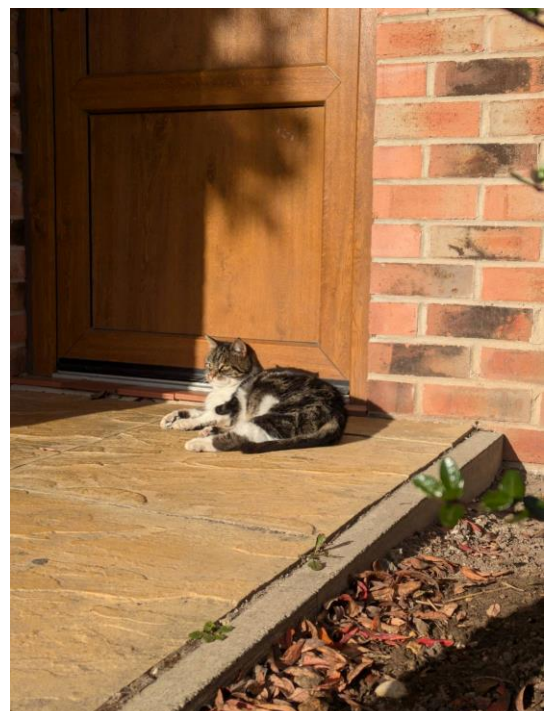
ヒースロー空港からヨーク行きの電車が出るキングス・クロス駅までは、移動に時間がかかり、かつ経路も複雑です。乗り継ぎや移動時間に余裕をもって行動することをおすすめします。

****ヨーク駅から大学へのアクセス****

ヨーク駅から大学までは徒歩で約 20 分かかります。特に到着初日はバスよりもタクシーや Uber の利用が便利です。タクシーは約 £7、Uber は約 £4 です。寮によっては大学からさらに 20 分ほどの距離があるため、荷物が多い場合は Uber などを活用すると良いでしょう。

大学到着日	9 月 21 日 18 時頃
-------	----------------

2. 住居について	
到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input checked="" type="checkbox"/> その他（イギリス人）
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他（ ）
住居の申込み手順	<p>**大学寮の申し込みと家賃支払い**</p> <p>入寮の連絡は6月頃に大学からあり、オンラインで簡単に申し込みができました。特に複雑な手続きはなく、スムーズに進められます。家賃は約3カ月ごとに支払うシステムで、事前の支払いは不要です。私の場合、初めての支払いは10月下旬で、9月から1月分の家賃をまとめて支払いました。</p> <p>家賃の支払いはオンラインまたは対面で行え、クレジットカードでの決済が可能です。大学には複数の寮がありますが、事前に希望を選ぶことはできません。ただし、入寮後に問い合わせを行えば寮の変更も可能です。</p>
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？	
特になし	
3. 留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
日程	
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料（金額： ）
内容と様子は？	
留学生用 特別ガイド	<input type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	月 日から



IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？ いつ、どこで、方法は？ 日数、料金は？ トラブルは？

****到着後の手続き****

到着後、大学に搭乗券やパスポートの写しを提出する必要がありますが、こちらはメールで簡単に完了しました。また、半年の滞在であれば特別な申請手続きも必要ありませんでした。

2. その他現地でした手続きは（健康診断、予防接種等）？ いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

特になし。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

していません。人によっては開設していましたが、半年のみの滞在かつ、代替の決済がクレジットカードで事足りるため、私は開設しておりません。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

****携帯電話 SIM の準備と使用感****

私は GiffGaff の SIM カードを利用しています。日本にいる段階で郵送してもらい、到着後にオンラインでデータプランを購入する形です。SIM カードは約 1 週間で届き、郵送料はかかりませんでした。

料金プランは複数ありますが、私は 20GB のデータ量が含まれる月額 ¥10 のプランを契約しています。通信状況に関して、時々開けた場所で接続が弱くなることもありますが、通常の利用には問題ないと感じます。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に（6 月 17 日頃）

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他（ ）

到着後に（ ）月（ ）日頃）

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他（ ）

登録時に留学生として優先されることはありましたか？

あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

****授業選択と留学生受け入れの傾向****

留学生向けの授業一覧は大学から Excel 形式で配布されます。そのリストから候補を選び、最終的に 3 つの授業を履修する形です。現在受講している授業でも日本人や韓国人など、留学生の姿をよく見かけることから、留学生が取りやすい授業とそうでない授業がある程度分かれているのかもしれませんが。

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

****履修授業と時間割の発表・変更について****

履修授業と時間割は現地到着後に発表され、到着後 1~2 週間以内であれば授業の変更が可能です。ただし、履修できる授業数は 3 つが上限で、追加はできません。私は希望通りの授業を取ることができましたが、第一希望の授業を履修できない場合もあるそうです。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入							
	月	火	水	木	金	土	日
5:00				全休 洗濯や課題、買い物など		旅行や課題、パブ	旅行や課題、お菓子作り
6:00							
7:00	起床						
8:00							
9:00	授業①		授業③				
10:00	授業①		授業③				
11:00	授業①		授業③				
12:00	授業①	授業②	授業③		授業②		
13:00	ランチ	授業②	授業③		授業②		
14:00							
15:00							
16:00							
17:00	日本コミュニティ		Japaese society				
18:00	日本コミュニティ		Japaese society				
19:00	日本コミュニティ		Japaese society				
20:00	パブ		パブ				
21:00	パブ		パブ				
22:00							
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝



Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般について等、自由に書いてください。

ヨーク・セント・ジョン大学とイギリスの大学生活について

イギリスでの大学生活は日本と比べてとても自由に感じます。授業は週に3コマ（日本の6コマ相当）しかなく、空いた時間を自分の興味や挑戦したいことに充てることができます。授業の予習や復習は欠かせませんが、自由な時間を使って新しいことに取り組めるのは貴重な機会です。私自身も初めての一人暮らしやお菓子作り、動画やラジオ制作など、さまざまなことに挑戦しています。

最初のうちは、慣れない環境や生活様式、未知の土地で戸惑い、メンタル的にきつい時期もありましたが、日本人や日本語を学んでいる外国人と関わる中で徐々に順応できました。ヨーク・セント・ジョン大学には日本語コースがあり、日本文化や日本語に興味がある人も多くいます。また、日本人留学生も数多く在籍しており、さまざまな地域の人々と交流することができます。日本について新たな視点を持ち、文化を発信する機会を得たい人や、留学に不安がある人には理想的な環境だと感じました。

授業について

「海外の授業は日本と違う！」という期待を抱いていましたが、実際に受けみるとさまざまな違いに戸惑いを感じることもあります。教育背景が異なるため、プレゼンテーション経験がない学生もいれば、逆に引用や学術資料を重視するなど、日本と異なる点が多々あります。とはいえ、授業の難易度は高くなく、予習・復習の時間もしっかり確保でき、学生や先生も親身にサポートしてくれるので、安心して学んでいます。

冬休みが約3週間あるうえ、1月は授業がなくテスト期間という扱いです。しかし、授業によってはテストではなくレポート評価で、年内のレポート提出が求められる場合もあります。私の履修している授業はすべてレポート評価のため、1月は授業やレポートの予定がありません。こうしたスケジュールも、日本とは異なる点です。

生活について

私のフラットメイトは、私以外が全員女性（5人中4人）で、最初はかなり戸惑いました。また、日本人や韓国人の男子学生が少ないため、女性との交流機会が多くなりました。外国人と関わるには、積極的にサークル活動や Society に参加したり、授業で積極的に友人を作ったりすることが必要だと感じました。



